

交通事故ワーストからの脱却をめざして

香川県 土木部 道路課

1. はじめに

四国東北部に当たる香川県は、日本で初めて国立公園に指定された瀬戸内海国立公園の中心に位置しており、南部には讃岐山脈が連なり、北部には讃岐平野が広がっています。面積は全国で最も小さく（1,876平方km）、平地と山地それぞれに占める面積はほぼ等しい広さです。瀬戸内海に有する延長約699kmの海岸線には多数の島々が点在し、四季を通じて温暖少雨で明るい瀬戸内海の気候に恵まれています。



今、香川では、瀬戸内海とそこに浮かぶ島々、香川ならではの食や現代アートなど、魅力あふれる香川をたくさんの方々に知っていただくため、「うどん県。それだけじゃない香川県」をコンセプトとしたプロジェクトを推進しています。

アートを道しるべに島々を巡りながら、瀬戸内海の癒しの風景と、そこで育まれた文化や暮らしに出会う、現代アートの祭典として開催中の瀬戸内国際芸術祭も、開催2度目となる今回は、会期を春・夏・秋の3シーズンに分けるとともに、エリアを拡大して開催しており、春と夏の会期は前回は上回る来場をいただきました。

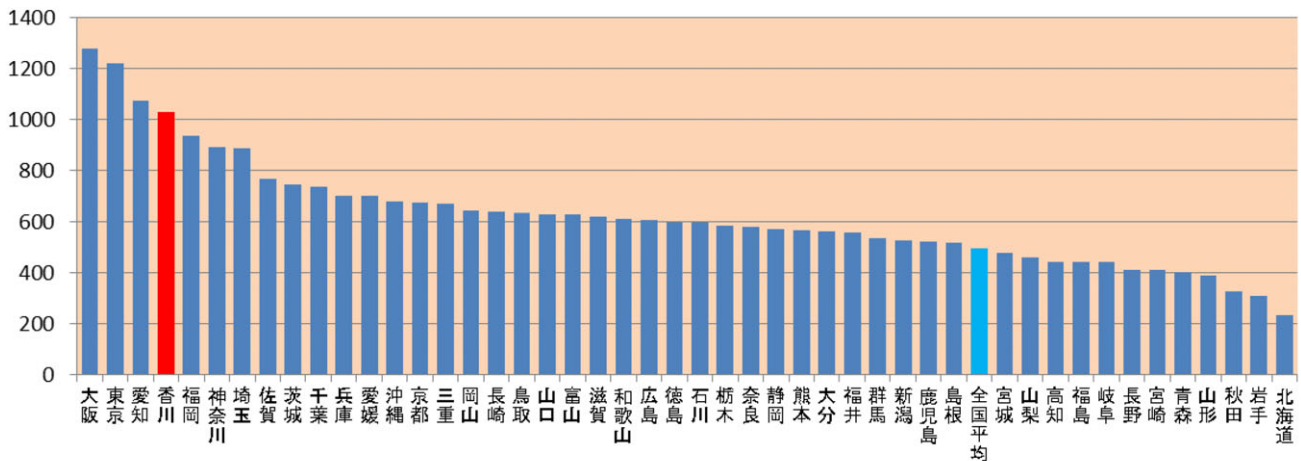
これから芸術祭を締めくくる秋会期（10/5～11/4）を迎えようとしています。すがすがしい秋空の下、本会期より新たに会場として加わる本島や栗島などでも、新たな素晴らしいアートとの出会いが期待されます。

2. 香川の交通事情

このような中、香川県の道路については、可住地面積の割合が比較的高いこともあり、道路密度は大阪、東京、愛知に次いで全国4位、道路舗装率は2位と、全国的に見ても高い割合となっています。

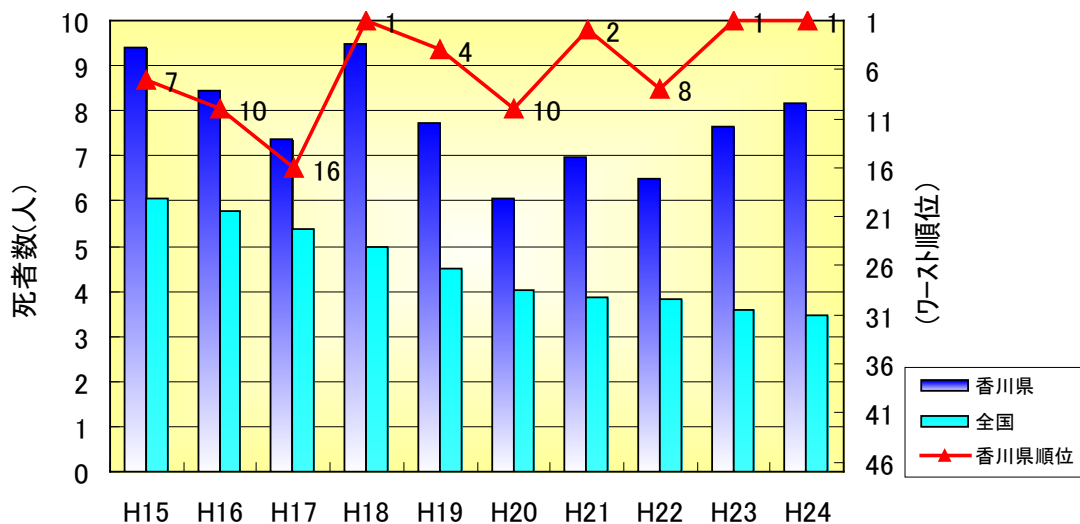
道路密度 (m/km²)

■ 香川 ■ 全国平均



一方で、近年の交通事故の発生状況は憂慮すべき事態となっており、人口10万人当たりの交通事故死者数にあっては、平成23年、24年と2ヵ年連続して全国ワースト1位と不名誉な結果となっています。平成24年の人口10万人当たりの交通事故死者数は、8.17人と全国平均3.45人の2倍以上と非常に高い割合です。

人口10万人当たり 交通事故死者数と全国順位 (ワースト)



こうしたことから、昨年度、香川県では交通事故の抑止を目指して全庁的な交通事故抑止のための検討チームを設け、全国の先進的な取り組みも調査するなど、対策を模索してきました。平成25年度からは、香川県の事故の特徴を踏まえた交通事故抑止対策に取り組んでいます。

香川県内で発生する交通事故においてとりわけ特徴的なのが「とこや」型と呼ばれる類型です。「とこや」の「と」は年寄り、「こ」は交差点、「や」は夜間をそれぞれ指し、夜間の交差点でお年寄りが事故に遭うケースが最も多くなっています。

3. 交通事故の起こりにくい道路交通環境の整備

交通事故が起こりにくい道路交通環境を整備するため、今年度から、管理する国道や県道で、「安心安全な道づくり緊急整備事業」として、

- ・「交差点のカラー化」、「分かりやすい路面標示」など、交差点における対策
- ・平成 24 年度通学路点検における要対策箇所への安全対策を中心に交通安全対策に取り組んでいくこととしました。

(1) 交差点での対策

前述した香川県の事故の特徴「とこや」型に着目して、道路交通環境の課題である交差点について、死傷事故件数の多い箇所を抽出して事故類型（種類）に応じた対策を進めます。

① 分析

交通事故総合分析センターの区間別データ（イタルダデータ）のうち、分析・整理されている最近 4 年間（H19～H22）を対象として検討。

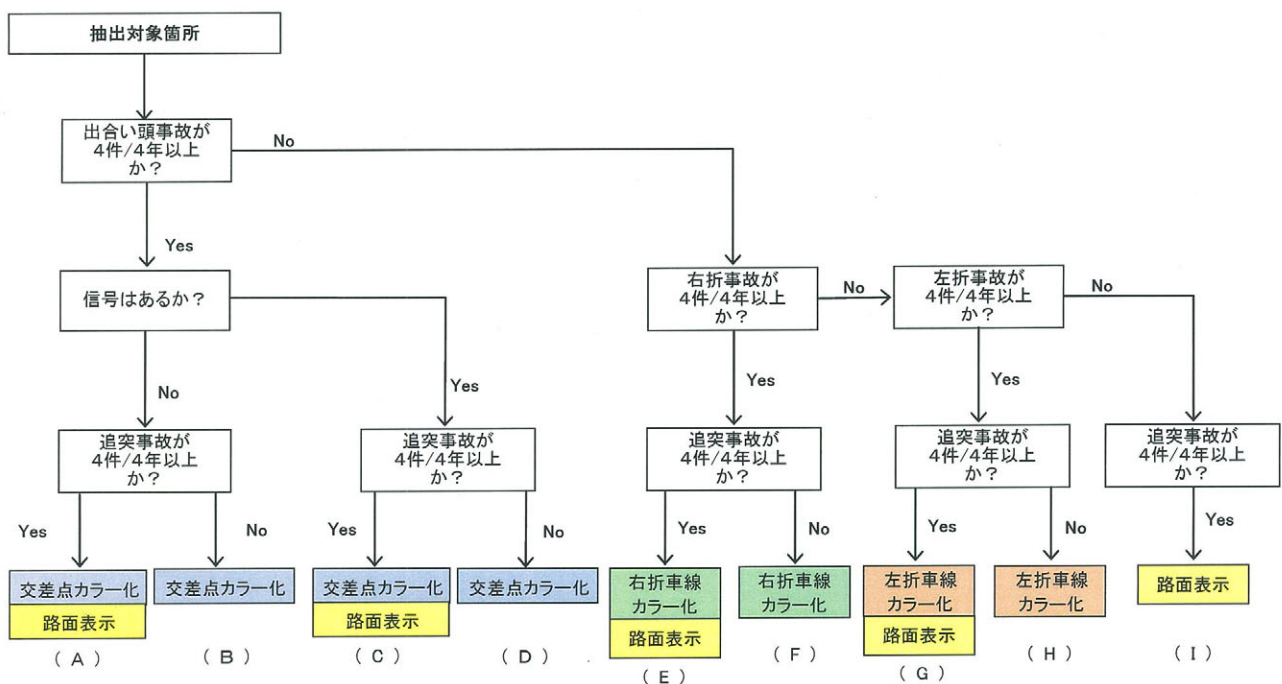
② 交差点の抽出

特定の事故類型（出会い頭事故、右折事故、左折事故、追突事故）による死傷事故が 4 件／4 年以上（1 件／年以上）発生している交差点を抽出。

③ 対策案の策定

- ・ 出会い頭事故の対策は、「交差点のカラー化」により、運転者に交差点への注意喚起を図る。
- ・ 右左折事故の対策は、「車線のカラー化」により円滑な車線誘導を図る。
- ・ 追突事故の対策では、「交差点注意」「速度落とせ」などの文字や減速マークを併用する「分かりやすい路面標示」を行う。
- ・ 複数の事故の対策は、複合的に対策を行う。例えば、出会い頭事故と追突事故が該当すれば、「交差点のカラー化」と「分かりやすい路面標示」を合わせて実施する。

【対策案の選定フロー図】



※信号がない交差点から優先的に整備を進める

④ 対策の実施状況

○交差点のカラー化



○分かりやすい路面標示

(減速マークと文字を併用)



(2) 緊急合同点検に伴う通学路の安全対策

通学路は、児童だけでなく地域の人々にとっても徒歩や自転車などで通行する身近な道路となっており、通学路の交通安全対策を実施することにより、児童からお年寄りまで全世代の交通安全の確保を図ります。

① 経緯

昨年は、4月に京都府亀山市などにおいて通学中の児童が巻き込まれた悲惨な事故を受け、文部科学省、国土交通省及び警察庁が連携して作成した「通学路における緊急合同点検実施要綱」に基づき、関係機関が連携して、通学路の安全点検及び安全対策に取り組むこととなりました。

② 通学路の緊急合同点検の概要

- ・点検実施対象：県内全ての公立小学校
- ・実施内容：学校による通学路の危険箇所の抽出。

学校、保護者、道路管理者、地元警察署による合同点検の実施と対応案の作成、計画的な対策の実施。

③ 本県の対応

本県では、1,083箇所について安全点検を行い、全ての箇所についてソフト、ハードの両面から具体的な安全対策を行っていくこととしました。

④ 安全対策の実施

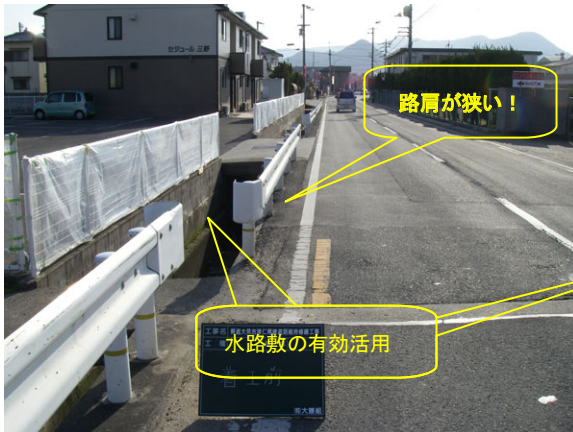
昨年度は、県単独予算を補正計上して、区画線の塗り直しや防護柵の修繕、設置など早期に可能な対策を行いました。さらに、通学路の安全対策を実施するため、今年度に新設した「安心安全な道づくり緊急整備事業」で、歩行空間を確保するため、道路に隣接する水路にふたを掛けて路肩の幅を拡げたり、歩行空間を視覚的に分離するため、道路路肩部をカラー舗装するなど、工夫しながら早期に効果が現れるよう対策を進めています。用地買収等により期間を要する、新たに自転車歩行者道を設置する箇所については、国の補助金などを活用しながら、緊急度、優先度の高い箇所から計画的に整備を図っていくこととしています。

⑤ 対策事例

○道路路肩部のカラー舗装化（歩行空間の視覚的分離）



○ 水路の蓋掛けによる歩道整備



4. 終わりに

香川県では、今回、ご紹介した道路管理者の取り組み以外にも、県警察による交通取締りの強化や標識・表示の高輝度化・カラー化、また、くらし安全安心課による高齢者交通安全教室の開催や、5人1組で無事故無違反等に取り組む交通マナーアップコンテストの開催など、全庁的に交通事故の抑止に取り組んでいます。

痛ましい交通事故により、尊い命が失われることのないよう、これからも、安全で快適な道路環境の整備に取り組んでいきます。